

## 平成30年度 第7回未来ビジョン会議 要点記録

- 1 開催日時 平成30年10月17日（水）午後7時から午後8時45分
- 2 開催場所 伊東市役所8階大会議室
- 3 出席者 伊東市未来ビジョン会議委員13人（欠席5人）  
市長、副市長、教育長、市長戦略監、企画部長、観光課長、産業課長、事務局（行政経営課長、行政経営課主査、行政経営課主事）
- 4 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 市長挨拶
  - (3) 進行説明
  - (4) 発表
  - (5) 閉会
- 5 会議概要
  - (1) 開会

行政経営課長から開会  
（欠席者報告）

### (2) 市長挨拶

（小野市長）

皆さんこんばんは。本日は第7回目の未来ビジョン会議でございます。よろしくお願  
いします。

今回を含め、計3回ほど本市のにぎわい演出をテーマに皆さんにはグループワークを  
中心に、議論を重ねていただきました。その中で、8月6日を浴衣の日と設定し、未来  
ビジョン会議の中でも皆さんに浴衣を着ていただき、市街地を歩いていただきました。  
そのことを踏まえまして、前回グループに分かれ本市のにぎわい演出について意見をま  
とめていただきました。

本市においてにぎわい演出は、重要な施策であります。本市の観光を取り巻く状況は、  
今年度の夏季において、宿泊客数は昨年度より1%の増であったものの、来遊客は9%  
の減となっております。来誘客が減少した原因は、猛暑や台風の自然災害等の原因があ  
りますけれども、やはり今以上に伊東市の魅力を高めていく必要があるということだ  
と思っております。

ぜひ皆様による新たな視点からの意見やアイデアをいただき施策に反映する中で、  
共に本市の魅力を高めていきたいと考えておりますので、本日も忌憚のないご意見を賜  
りますようお願いいたします。

### (3) 進行説明

行政経営課長から説明  
(発表内容の整理)

### (4) 発表

#### 【発表テーマ】

- ・ インスタグラムなどを中心に、魅力的なフォトスポットには多くの人を訪れていることから、東海館などの観光スポットにおいて気軽に魅力的な写真が撮れる空間をどのように創出していくか。
- ・ 現在取り組んでいる事業の課題やその課題に対する改善策。
- ・ 今後にぎわいを創出・演出するために必要な仕掛けづくりとは。またその際の行政、住民の役割とは。
- ・ 街歩き（8月21日 未来ビジョン会議）をした中で、気づいた点。

#### ア Aグループ

よろしくお願ひいたします。

ワークシートに沿いながら発表をしていきたいと思ひます。

まず、インスタグラムを中心に魅力的なフォトスポットの創出ということで、テレビ番組の「YOUは何しに日本へ」という番組があるのですが、その中でタイヤ乗り競走に最近YOUが出たということがあり、タイヤをインスタのフォトスポットとして活用するのがひとつ、後はまくら投げ競技も伊東市特有のイベントとして行っていますので、そこに浴衣を融合させて、例えば浴衣を着てタイヤの中に座って写真を撮るとか、またその中でまくらを持って写真を撮るとかそういった少し刺激的なものができたら良いのかなということをグループで考えました。

現在取り組んでいる事業の課題やその課題に対する改善策ということで、グループの中でキーワードとしてワークシートの一番下に書かせていただきましたが、一番大切なことは検証をすることが外せないのかなと考えました。過去の事業の実績や予算等を資料で見せていただいたのですが、果たしてその事業がどの程度効果を出したのか、経済効果を出したのか、観光客がどれほど増えてきたのかということが十分に分からない部分があったので、よくPDCAサイクルといいますが、実際どの程度の効果が出たかということを見ることによってその後の改善策が見えてくるのかなと感じました。

例えばぬくも一るの利益に関しても見せていただきましたが、収益の状況を見てどう変えて行ったらいいのかという部分がわからなかったり、キネマーケットに関しても補助金等を見せていただいたのですが、果たして商店街の出店数はどうなのかということであったり、開催したことによって地元の人が増えたかもしれないですが観光客はどのような変化を見せているのかというような検証が不可欠であるのかなと考えました。

花火大会につきましては、現状のままでいいのかという視点で私も伊東に来てまだ2年しか経っていないので昔がどうだったということはわかりませんが、観光客が果たして増加しているのか、地元の人には来るけど観光客はあまり来っていないという現状

も考えられるのかなということ、課題としてまとめると検証をして今後どのようにしていくのが大切なのかなという意見をまとめさせていただきました。

今後にぎわいを演出、創出するために必要な仕掛け作りとして、行政がかなり前に出て色々な事業をしている形が毎年よく見られるという中で、もっと事業をボトムアップ型にして事業者に委託をする方が良いのかなと思いました。

2つ目は、果たして実際に住んでいる人々の当事者意識はどうかということ、本当に危機感を感じて何かしなければいけないという意識が果たしてあるのかということ、疑問点に感じました。

毎回、行政が予算を与えても行う側の人たちがどのように感じているのかと思いますので、気持ちの部分がやはり大事なのかなと思います。

3つ目として、キネマ通りはアーケードをうまく活用することができないのかなということ、ライトアップを提案しました。また私は伊東商業高校で1年生の現代社会を担当しているのですが、選挙の授業の中で、伊東市を改善するためにどんなものがあるのかという話をした際に面白かったのは、スケートボードがオリンピック・パラリンピックの正式競技になりますので、その辺をうまく使えたら日本のスケートボードの聖地となり、人が来るのではないかという意見もありました。キネマ通りでやろうと思えばできなくもないのかなと感じました。

4つ目として、高校生によるキネマ通りの再生についてです。若い人の意見を上手に取り入れてキネマ通りを再生できないかということを考えさせていただきました。

若い頃から地元に関心を持つことで市外への流出も防げる可能性もあるのかなと感じました。また高校生の意見を参考程度に言いますが、伊東市を発展させるために何が必要かという質問をした際に映画館が欲しいという意見がかなりありました。

そこで、キネマ通りという名前も付いていますので、現代の若者の意見を聞きながら再生していくというのも一つの方法なのかなと考えました。

最後に実際に街中を歩いた際の感想ということで、やっぱり寂れている感じがします。また、キネマ通り商店街の方と意見交換をする中で、シャッターが閉まっているお店は生活に困っていない人達だからこそシャッター街になってしまっているんだよということを教えていただきました。まずそのような人達の意識の問題ですよね。自分たちの生活がいいからそれでいいのかということ、これを考えることが今後の課題なのかなと思います。

また東海館の周りは観光地として整備されているので、そこに合わせて東海館だけではなくてキネマ通りも交えながら全体的な雰囲気作りが必要なのかなと感じました。

最後に浴衣で歩くというのは今までにない経験だったので、とても新鮮な気分が良かったというのが感想になります。以上です。

(小野市長)

ありがとうございます。

Aグループの発表をいただきました。これから質問等を行いながら進行したいと思います。私からは一応全部の意見について申し上げますが、インスタのフォトスポットについては、やるべきだなと考えておりますので、浴衣を着てタライの中でまくらを抱えるというのも一つだなと思いました。面白おかしくやる事で興味を引くことが必要ではないかと思います。

2つ目で検証がキーワードということでありましてけれども、検証は誰がするのか、行政がすれば自己満足又は自己批判を含めてそれでいいのかということをおもひ日頃感じております。やはり様々な声を聞く耳をしっかり持つということが必要だと思いません。

それからぬくも一について、後ほど産業課長に答えてもらいますけど利益を出すというよりは、アンテナショップという情報発信の基地だと考えておりますので、なかなか利益を出すのは難しいですが、情報発信という意味で一定の効果があるのではないかと考えています。

花火大会が現状のままでもいいのかについては、Cグループからもご意見がありますがけれども、日頃市民の方や観光客から今日は花火ないんだねということもお聞きしますので、今後検討していかなければいけないと思っておりました。

住んでいる方々の当事者意識はあるかですが、おそらく、夕方以降店が閉まっていって行ってもシャッターが降りているところが多いと思うのですが、やはり売上等を期待するとなかなか長い時間営業をするというのは難しいと思っておりますが、発表者が意見してくれた中で当事者にそれでいいのかという気持ちにどうやってさせるかということをお考えさせられました。

高校生によるキネマ通り再生については、スケボーは面白いと思っております。それから映画館もかつては伊東劇場がありそれを基にシネマ通りがキネマ通りになりました。現在は名前だけになってしまったので、ご意見いただいた事を考えたいと思っております。

最後に気がついた点はかなり厳しいと思っておりますが、的を射ていると思っております。その中でも浴衣で歩いて良かったと言っていたのが良かったかなと思っております。それでは順番にお願いします。

(若山副市長)

私達も普段検証ということは気にはしてはいるのですが、なかなか行政主導で行った事業の効果等を正直どこまでしっかりと検証できているのかなと思っております。

P D C Aということも掲げてはいるのですが、正直本当の意味での検証になっているのかなというところで、そういう意味では皆様のご意見を参考にしながら事業の検証をしていくということが、次の事業であると考えました。ありがとうございます。

(佐野副市長)

若山副市長と重複してしましますが、本当に検証は重要だと思っております。

以前の未来ビジョン会議でも話した覚えがあるのですが、観光の分野が一番検証が遅れている分野という気がします。例えば、先ほど市長から観光客の状況について説明がありましたが、観光客が減ったとしてもなんだかんだ理由がついてしまいます。県や市が様々な観光事業を行ったとして結果的に成功したのかどうかも含め、観光客が減ったのは天候が悪かったとかそういう形で理由がついてしまう分野なので非常に検証が遅れていたところだと思います。

そこを問題としてあげていただき、私どももしっかりやっつけようと考えていますので本当に参考になります。

それからアーケードの活用ですが、伊東に来てから一番立派な商店街が使えていないので、なんとかうまく使いたいなと思っていたところです。

本当に参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

(教育長)

全体を聞いて私は本当に正直な意見を言っていたと受け止めました。

その中でもやはりアーケードの活用が興味を引きまして、先ほどの発表者が言われましたスケートボード、ライトアップや映画館など、色々な案があると思いますが実際やってみることに、実行することが大切だと思いました。学校も色々変えているときに十分考えることも必要ですけど実際に走りながらやっていくということも必要だということをおもって思っています。実際やらないと何も変わらないと考えておりますので今日頂いた意見は大変素晴らしいと思いました。ありがとうございました。

(市長戦略監)

ありがとうございました。

一点だけ申し上げます。高校生によるキネマ通り再生は良いなと非常に感じています。商業高校の生徒さんは、色々市の事業に協力してお菓子の開発とかも行っていただいていますので、例えばですが、キネマ通りでチャレンジショップとかそういうものを出店したりして自分たちでも商売というものを経験する中で、伊東の中で起業しようとか市外で就職しないで伊東で就職しようという、伊東大好き人間みたいになっていただき、キネマ通りをこのようにしていくんだというのを考えていただければ将来明るいのかなと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

(企画部長)

お疲れ様でした。

私も一点だけ申し上げます。アーケードの活用ということで雨天時に何かできないかということですが、そもそも本市は雨が降ってしまうとなんか行くところがないねと昔から言われていました。そういう雨天時対策として、まさにあの通りを一つのイベント会場として位置付けていく。土、日には何かのイベントがやっていて閉まっている店が多いということをお逆手にとって色々なイベントをやろうというのは非常に検討に値すると思われました。

(産業課長)

産業課長の平野です。貴重なご意見ありがとうございます。

ぬくもーるの件でございますけれども、ぬくもーるは伊東ブランド、地魚王国、お菓子共和国などの地域資源を総合的に広報するための拠点ということで、個の店舗として利益を上げることを目的とする施設ではなく、市全体を活性化することを目的とした施設です。利益ですが、店舗としての収益は300万程度ですのでプラスではありませんが広報拠点としての効果については出ているというところでございます。

検証についてですが、平成27年度から事業を実施していますが、年度ごとに検証を行い運営方法については改善を進めております。その中で平成27年度からアンテ

ナショップの実験店舗として運営し、平成28年度もアンテナショップとして運営、平成29年度からはぬくも一として事業を展開しているところでございます。

また引き続き効果を検証しながら改善していきます。ぬくも一については商工会議所の事業ですので、今回いただいた意見については商工会議所にも伝えて、改善を図っていきたいと思っております。以上でございます。ありがとうございました。

(観光課長)

観光課長の小澤と申します。よろしくお願いいたします。

インスタのフォトスポットについてですが、実は我々もやはりフォトスポットが市内にあまりなく、新年度の話になりあくまでも予定となりますが、フォトスポットになるようなものを整理しようということで今予算を要求している状況でございます。我々が考えていたことは、観光施設の中に入って撮影するイメージが強かったので、イベントを活用してフォトスポットを作るというおもしろいアイデアをいただきましたので、予算化できましたらぜひその辺も検討材料とさせていただきたいと思いません。ご意見ありがとうございました。

(小野市長)

最後に一つだけ質問します。花火大会は今のままで良いのか、観光客が増加しているのかについてグループの中でどんなご意見が出たのか、お伺いしたいと思います。

(Aグループ)

花火大会は今のままでいいのかということなのですが、回数の問題と発数の問題もありまして、以前は2万発とか1万5千発あったかと思いますが、学生時代に色々な花火大会を見に行きまして、15年ぐらい前ですと1秒間に上がる花火の発数がPLの花火大会とか他の大きい花火大会に比べても視界に入らないぐらいの花火が上がるということがすごく魅力でした。それを大学時代の友人に伝えたところ、実際に見に来まして本当に感動して帰りました。それから毎年来てくれるようになりましたが、花火大会を分散させたことによって発数が減ったということで魅力が失われているということもあり、以前に比べてやはり来ている方の数も全体的に少ないのではないかと、もっと昔は窮屈で見るのも大変なぐらいぎゅうぎゅうでしたが、ゆったり見れるような状態になってしまっているということは、実際には観光客が減少してしまっているのではないかとというような意見が出ていましたし、私の意見でもあります。

(小野市長)

鋭い指摘ありがとうございます。花火大会が分散したから発数が減ったということだけではないと思いますが、やはり時代の変化もあり基本的に協賛金をいただいておりますのでその集まり具合というのがあります。このままのやり方で行くと協賛金次第で毎年大会の大小が決まってしまうので、これからは骨太のものを作っていかうと思います。ありがとうございました。

それではBグループ発表をお願いします。

## イ Bグループ

よろしくお願いします。

まずインスタグラムのフォトスポットですが、私たちグループではインスタ映えするスポットの撮影ポイントマップのようなものを有名なインスタグラマーに監修を依頼して作成してみようということで、そのポイントについては路面にインスタのロゴマークを塗装したり張り付けたりすることで一目で分かるようなポイントを作っておくと良いかなと思います。また、そのポイントだけではなくて少し周りにも目を向けられるようなものが作れたらいいと思います。出来ましたらそのポイントで撮影するだけでは面白みがないので、あえて顔出しパネルとか撮影に必要な小道具とかを用意して他の街とは違う視点でインスタを活用し、写真を撮ってアップしてくれるようなシステムを作れたらいいなと思っております。

現在取り組んでいる事業の課題とその課題に対する改善策です。

商店街としてキネマ通り、湯の花通り、中央アーケード、アンジン通り、桜木町など、商店街の通りごと横の繋がりがすごく薄いような気がします。

キネマ通りはキネマーケットなどで賑やかになっていますが、それに接続している中央アーケードは何かやっているかというところは何もやっていない。一緒に行ったらどうなのって言ったらあそこの通りと私達の通りとではここが違うとか、あのイベントは他の商店街がやっているから他はやらない、そんな事ばかり言っているから横への繋がりをしっかり持てるような対策をして行けたらと思っています。具体的に言えば、毎月何日は商店街の日と決めて、全商店街で同じイベントをやるよと行政からでも商店街連盟でもいいですが、まとまって市街地域、市内地域の活性化イベントとして行えたら良いかなと思います。

それから伊豆高原エリアなどの南部地域である大室山、小室山、城ヶ崎の方で行うイベントの交通のアクセスが悪いと思います。直近ですと、小室山のお月見イベントをやりますと飲食等のブースが出ています。お月見ですのでお酒を飲みたいですね。数人で行って誰かが運転手になるという形が結構多く見受けられます。そういうところで、シャトルバスというものを活用してみたらどうかと考えます。以前伊東市でもアンジン号というバスを100円程で検証をしていたかと思っておりますので、イベントを巡るバスを作っていただけたらと思います。

伊東市ではタイ乗りやまくら投げなど他市にはないイベントが結構多くあると思います。それに関しても、市民は知っているけど来たお客さんはほとんど知らなかったということがあります。情報発信されていないのではないかとはいくらも知らない方が多くて、当日になり知るとい事も結構見受けられます。またやりましたぐらいのニュースは見るのですが、情報発信できる番組に売り込みをし、もう少しPRを行い事前にできるものを強化していったら、その情報を見に行ってみようということになれば良いのではないかと考えております。

最後に観光イベントとか色々なイベントを伊東市は行っていますけれども、開催日が近いイベントを一つにまとめて行って共催という形にしたらどうかと思います。例えば、オレンジビーチマラソンは市外のランナーさんも結構いらっしゃいます。そこに、めちゃくちゃ市を併せて行くと伊東の知らないところが見れたり、市長が魚をさばっていたりとかマラソンにしか興味がなかった人に対しても市のPRができるのではないかと考えております。

三つ目のにぎわいを演出するための仕掛けづくりですが、例えば観光イベントを市内中心ですが民間団体、民間企業にアウトソーシングする。今ですと観光課又は観光協会の方が一生懸命行っていますが、絶対的な人手不足は否めないと思います。もっと出来る事が出来なかつたりというところが既に見えていますので、この事業は民間に公募しようとかもいいですし、もう少し民力を入れてもいいかなと思っております。

お土産、飲食店等の情報を一元化、集約化するということで、お店の外にQRコードを置いてスマホとかで見るとお店の雰囲気やこんな社長や店主が営業をしているよ、みたいなどころを見れるような形にして、お店に入りやすくてきたら良いのではないかと考えています。夜の市街地ガイドブックの作成や宵町案内人など、また中央アーケードに何十年も前になりますが、射的やスマートボール等があったかと思しますので夜街に出て気軽に遊べるようなスポット、昔懐かしいと感じる方が温泉場には似合うと思うので再生させたらどうでしょうか。

伊東の日を使って商店街の繋がりを持てるような形をとったらどうかと、お店一つ一つではなくて商店街全体として伊東の日のイベントに参加するような形を取れるようにすれば相乗効果があるのではないかと思います。

街歩きをして気が付いた点ですが、8月21日の未来ビジョン会議の日は夏休みの最盛期を少し過ぎた頃ですけど、宿泊は100%稼働に近い状態にもかかわらず観光客が出てないという状況が見られました。

キネマ通りは結構明るいのですが、他の通りや東海館の周りも含めて結構暗くて歩き難く陰気な雰囲気が見受けられます。

東海館の対岸等に案内板がありまして、夜だと暗くて文字が読めないのでライトを当てるとか読みやすいものに変更するという事も必要ではないかと思います。

ぬくもーるについてですが、寄せ集めで色々なもの置いているようなイメージにしか見えない作りになっていたなと感じました。天井から吊るされているのがマリファナの葉っぱとか、100円均一で売っているようなもので装飾しているとか、統一感もなくみっともなく清潔感がないというような感じを受けました。リニューアルしたぬくもーるのサイトを見るといとうのいいもの、お菓子い共和国、伊東地魚王国の三本柱を謳っているのですが、観光客にしたらその括りはいらのではないかと思いますし今は広報拠点ということ考えると、そこに行くとはどんな情報が得られるのかどんな体験ができるのかという情報に変えて発信できる拠点にしていだけたらと思います。さらにあまんちゅも加わって何がなんだかよくわからないような状態にもなっているのでその辺りも整理してトータルな広報戦略ができたらいいのではないかなと考えています。

(小野市長)

ありがとうございました。

アイデアが豊富だなと思います。路面に塗装する、顔出しパネルを置く、撮影ポイントマップの作成、小道具が借りられるレンタルショップの設置、どれも良い案だと思いました。今トリックアートという取り組みをしております、写真を撮ると路面が浮き出るような仕掛けですけども、私の本当のイメージは例えばいかにも怪獣に食べられてるような写真が撮れるようなものをイメージしていたので、今後進化させ



たいと思っていますし、それも一つのインスタ映えするスポットになるのではないかと考えております。

商店街についてですが、商店街の繋がりはないわけではないのですが、例えばキネマーケットの開催日にすぐ横を通る中央通り商店街ですが、ほとんどイベントに参加できるお店がないというのが正直なところでありまして、ほとんどの店が日曜日閉まっています。このことを考えるとやはり根本的に活性化を行う必要があると考えております。

それから小室山の例を挙げていただきましたが、交通アクセスの問題をどのようにして考えるかということで、バスやタクシー券の配布とかで対応できるものもあるのではないかと考えました。

タライ乗りやまくら投げは確かに他市にないイベントですので、結果を報道してもらうだけではなくて事前の発信というのも必要だと感じています。これはマスコミだけではなくて、市民の皆さんにも積極的にお願いをするようなことを考えなければいけないと思いました。

オレンジビーチマラソンとめちやくちや市同時開催をして市長が干物を開く、とてもいい案だと思います。もともとめちやくちや市は、お正月明けで暇な1月の最終土日に何かやろうということで前々の市長が始めたのですが、それなりの経済効果があったかと思います。それをオレンジビーチと共催してみるの是一次試みたいなと思いましたので、今後検討をしていきたいと思っています。

観光イベントをアウトソーシングしていくについてですが、企業の場合ですとやはり利益を追求しなければならないので、行政が行うのと違うやり方になってしまうのが少し心配ですが、何かのイベントを一回依頼してみるというのも必要ではないかと思いました。

QRコードの活用は必要だと思います。最近では代金の決済もQRコードで出来るようになっておりますので、これは積極的に研究します。

夜街を歩いていただけるようなガイドブックや昔の温泉街にあったような施設の再生ですが、これも事業者に働きかけていくということになりますがあつた方が良くないかと考えております。

伊東の日に合わせて110円とか1,100円均一みたいなことを今年もやりましたが、また見直しをしていかなければならないと考えました。

実際に街歩きして感じた点でございますが、とにかく街を歩いている方が少ない。夜もそうですが、昼間も少ないということは感じておりますのでやはりなにか仕掛けが必要だと思います。それを具体的にしていきたいのは委員の皆さんでございまして、ご提案いただいた中で案内板が見えないので近づいたときに人感センサーのように照明がつくようにすることやぬくも一るのこともご意見いただきまして、具体的にこのようにしたらいいのではないかとということもいただければと思いました。以上でございます。

(若山副市長)

簡単にですが、月見でお酒が飲みたいのは同感でございまして、私もこのような仕組みが作れば自分自身もお酒が飲めていいなと思いました。それから開催日が近いイベントを集約するというご意見ですが、私たちどうしてもよく批判されるように縦

割りの部分が否めません。それぞれ行っている課が違くと、そこを一緒にしようという発想になかなか至らないんですが、このようなご意見をもとに改善してくべきのかなと思います。それからぬくも一るに対する非常に厳しいご意見というか、本当に率直なご意見だと思えますけれども、辛口なご意見にこそ私たちは耳を傾けなければいけないのかなと思えました。ありがとうございました。

(佐野副市長)

私からは、あえて顔出しパネルを設置するということですが、どうしても行政ですと撮影ポイントということで施設整備的なしっかりしたものを作ろうという発想が出てきてしまう中では、本当に安価で面白いことができるなというところがすごく興味深いです。小道具の貸出も非常に有効かなと思います。せっかくですので、あえて大人が顔出しして写真が撮れるような具体的なパネルイメージも提案いただけるとありがたいです。

(教育長)

ありがとうございました。

私は街を歩かせる施策の中で、自分の友人が伊東の街へ来た際に他の地区にはない小さい飲み屋がいっぱいあるところに昭和の古さを感じ、非常に興味を示しまして、普段私達では感じないようなところを感じていました。ただお店に入るに当たって値段がいくらか非常に不安だと、ポツタクリに遭うかもしれないので入りたいんだけど入れないという話を聞いて確かにと思いました。夜の街をもう一度見直すきっかけになれば良いなと思えました。

(市長戦略監)

ありがとうございました。的確な指摘で全てこの通りだなと思います。

顔出しパネルは私も興味がありまして、個人的な話ですが私の妻がすごい好きで顔出しパネルを早く作れ作れと言ってきます。現在は大田楽や按針祭のものを作りまして、2つあるかと思えます。非常に面白いなと思えますし、そこに小道具が付けばなおさら良いなと思えますので、進め方については民間の協力を得ながら進めていきたいと思っています。

オレンジビーチとめちやくちゃ市を同時開催として例に挙げていただいたのですが、オレンジビーチの参加者が2,000人いる中でゼッケンを持って街中の商店街に行くと割引をしてくれるとか、川口公園の所で出店したりもしていますので、その2,000人を街中に引き込んで商店で買ったり飲んだりしてもらいたいという思いもありますので、ぜひ検討ができれば良いなと思います。

教育長も仰いましたが、宵町案内人ですが知る人は知っているかと思いますが、なかちゃんという方がいらっしゃいます。この場で紹介することは難しいですが、案内人は必要だと思います。安心してお店に入れるようにするために飲食組合が行うのかわかりませんが、出来れば外国人の方にも対応できるようなご案内ができればいいのではないかと思います。ぜひ進めていただき、良いアイデアをお願いします。

(企画部長)

ありがとうございます。

遊技場の設置は大賛成でございます。今の中央商店街の少し入ったところに20年ぐらい前に射的やボトル落としのお店がありまして、よく飲み会の後に行きました。

ぬくも一るの向かい側が以前はパチンコ店でした。その前は私が小学校の頃ですので50年くらい前だと思いますが、たしかスマートボール場だったと記憶していますので、そこにスマートボール場を再開するというのが私の願いです。

本市はご存知だと思いますが浴衣を打ち出しておりますので、次は浴衣を着て行ってみたいという空間を作るということが課題だと思います。ぜひ進めて行きたいと考えます。

(産業課長)

ぬくも一るについては、商工会議所へお伝えします。ありがとうございます。

(観光課長)

伊豆高原の方の南部地域について交通の課題が出されましたが、今年度から市長の提言で南部地域を滞在型リフレッシュリゾートにしようという計画がございます。美術館、博物館、体験施設等の色々な施設を巡ってもらいながら連泊してもらおうという施策ですが、やはりその中でも離れている美術館、博物館、体験施設をどのようにして巡ってもらうかというのはひとつの課題となっておりますので検討しているところであります。

また、イベントではつつじ祭りのライトアップは、シャトルバスを出しておりますので検証をしながら、またグランイルミは東海バスさんに増発をしてもっています。なるべくお客様が気軽に巡れるような仕組み作りを今後研究していきたいと思っております。以上です。

(小野市長)

ありがとうございました。本日バルのパンフレットを頂きまして、先ほど戦略監が言いましたけどマラソンの日の1月にバルを開催することは可能でしょうか。

(Bグループ)

開催月に関しては特に縛りはありませんが、基本的なコンセプトとしては11月の歩きやすい季節に行った方が良いということと、一番お客様の落ち込みがある6月と11月に行った方が商店街も行いやすいだろうということでやっています。行えないことはないと思います。

(小野市長)

また、具体的に相談をさせていただきたいと思っております。

それでは、Cグループお願いします。

## ウ Cグループ

ワークシートに沿って発表させていただきますのでよろしくお願いします。

まずインスタのフォトスポットについて、伊東市長選出のAKB48ならぬITO48インスタグラマー部の設立です。48人を市長によって選定してもらいどんどん伊東のインスタ映えスポットを発信してもらうことが良いと思います。その際に場所の地図も添付してどこで撮ったのかが分かるように発信してもらうことが良いと思います。ちなみに時間外勤務手当もあったほうが良いと思います。

次に駅からキネマ通りの動線をイルミネーションによりピカピカにするという意見です。あえてピカピカではなく、辺り一面振り切ってイルミネーションでビッカビッカにするのが良いと思いあえてピカピカという言葉にさせていただきました。

現在取り組んでいる事業の課題やその改善策ですが、藤の広場のイベントは観光客に分かりにくいと思いますので、海沿いで観光客にも場所が分かりやすいなぎさ公園で行うほうが良いのではと思います。

花火ですが平日に行うのではなく数を減らしてでも土日に花火を行った方がより市外の観光客の方も来て、より盛大に行った方が良いと思います。

住民が変化をおそれないについては、これは改善策ではなくて、気持ちのあり方です。変化に対して住民から悪い意見も出るとはありますが、その変化を楽しんで変化を恐れないでチャレンジすることがこの街を変えて行くには必要なことではないかと思えます。

今後のにぎわいを演出するために必要な仕掛け作りとはですが、戦略監からも話がありました。今観光地に中国人観光客等の外国人が多く訪れていると思いますので、外国人を対象に目的を明確にしたアンケートを取った方が良いのではと思います。例として、ホテルなどに協力してもらいなぜ伊東に来訪したのか、何を見に来たのか、何が一番楽しかったのか等のアンケートを取りそれを集計しデータ化することによって、そのデータを踏まえて今後のまちづくりの参考にした方が良いのではと思います。

また、こちらも外国人を対象にしているのですが、店舗に市が協力して外国語のメニューを作成したり、アリペイと言ってよく中国で使われる決済ですが、店にQRコードを張ってQRコードに翳すことによって決済を行えるというアリペイと文翻訳機の導入をしたほうが良いと思います。

最後になります。街歩きをした中で気づいた点ですが、近未来なのか過去なのか街並みが中途半端かなという意見が出ました。近未来か過去なのか重点を置いて街づくりをして行った方が良いのではと思います。

インスタ映えを狙うのであれば、夜、明かりがなくて暗すぎるという印象がありました。

東海館の周りだけ整備されておまして先ほども導線の話をしてしまいましたが、東海館へ行くまでの動線の駅から東海館だったり、藤の広場から東海館の導線を整備をした方が良いと思います。以上です。

(小野市長)

ありがとうございました。大変ユニークな提案が目白押しではないかと思えます。

I T O 4 8 は新しい発想だと思います。ビカビカにするという表現もとても強烈だなと思いましたのでどんなイメージになるか、今伊東駅でイルミネーションをやっておりまして今は提灯を並べたお祭り風になっていますけども、冬の近くなりましたら必ずバージョンアップします。今、観光課の若手職員を中心にプランを練っておりますのでびっくりするようなものを考えています。

それから藤の広場よりなぎさ公園ということですが、松川の河口のメモリアルパークの彫刻部分を全面改装する工事にかかります。観光会館別館も含めた新たな公園のようになる予定です。そこも今後イベント会場の一つにできると思っております。人目に付く場所という意味のご意見だと思いますので、参考にさせていただきたいと思います。

花火についてですが、Aグループでも話しがありましたので後で聞きたいと思いますが確かにお盆の期間の14、15日に富戸や川奈などで地域の花火大会は行っていますが、一番お客様が来ている時期に花火が上がっていないということになっていますので、その辺もどんなお話があったか後で教えてください。

それからチャレンジは、実は来年の伊東市のキーワードになります。あくまでも対話と融和を重視していきますけども、そこにさらにチャレンジが加わりここに書いてあるように恐れなくて色々なことに取り組んでいく、ということを考えています。

次に外国人を対象に目的を明確にしたアンケートを取るというのは、今までになかった取り組みだと思います。これも必要ではないかと思えます。現在290万人以上の本市に宿泊するお客様がいて、外国人は5万8千人のようです。これを本市でシテイプロモーションを行いたいという業者にお伝えしたら、ものすごく珍しいと言っていました。ほとんどインバウンドでお客さんを引っ張る事ばかり考えている自治体が多く、例えば京都は圧倒的に外国人の数が多いということでびっくりしていましたが、そういう中でも本市を選んだ理由やどこが楽しかったとかいうことも参考になることだと思いますので考えたいと思います。また外国語メニューを用意している飲食店から言われたことは写真付きのメニューを用意しておけば指差しで出来る、今は自前で用意しているが市で用意してくれれば良いねということも言われましたので、そういうこともできることではないかと思えます。

アリペイや翻訳機ですが、スマホで翻訳アプリがあります。勝手に読み替えて英語を日本語に出来るようなものを私もインストールしていますが積極的に採用できるのではないかと思います。

それから街中が、近未来なのか過去なのか中途半端ということで、ご指摘の通りだと思います。冒頭にあったビカビカというのはイメージがあるのだろうと思うので、どんな未来なのかということの後で聞きたいと思います。

東海館の周りは特に整備が進んでいると思います。路面もカラー舗装等をやっていきますので、どこまで広げていくかしっかり考えたいと思いました。

(若山副市長)

私が感じたのは外国人を対象に目的を明確にしたアンケートは必要だと思っています。

先日、ある方の声を聞いた中で外国人が求めるスポット、行きたいスポットというのは日本人の発想とは違うものが多い。例えば京都では伏見稲荷がすごい人気が高い

らしく、地元の方にしてみるとなんであんな場所がということと言われる方が多いようですが、外国人はハイキングスポットとして考えて必ず見られた方は全部歩くという話をされていました。伊東の魅力についても僕らが感じていないものを外国人は感じていところがあるのかなと思いますので、ぜひアンケートを取る必要があるのかなと思います。ありがとうございました。

(佐野副市長)

私も重なってしまいますが、外国人を対象に目的を明確にしたアンケートは非常に有効だと思います。多く海外の方に伊東に来てくださいという施策を進める際に、海外ということでフィールドが広く、そこに対して施策を打つことはお金がかかります。その中で伊東に来ている外国人の方が何をみて伊東に来られたのかなど、実際に分析した上で施策を行ったら非常に有効な手段だと思います。そういう意味で非常に参考になります。

また、インスタ映えを狙うのであれば明かりがなく街が暗すぎるということですが、先日皆様と一緒に歩いた時に夜景を上手く撮ろうと思ったのですが、iPhoneでは限界があって良い写真が撮れなかったということもありますので、インスタ映えの撮影スポットについては明かりをしっかり確保するという必要だという話を丁度していたところです。ありがとうございました。

(教育長)

ありがとうございました。私も外国人を対象にアンケートを取るところに非常に目が止まります。本市には外国人が好むような何かがあるのではないかなということを感じています。竹のうちわを求めて日本へ来るとい方もいるようですので、日本人ではわからない外国人の興味があるようなことを探せば伊東にもたくさんあるのではないかと思います。その中でしっかりとデータを取って、外国人は何に興味があるのかを考えながら事業をすることが大切だと改めて感じさせていただきました。

(市長戦略監)

ありがとうございました。非常に共感したのは街中が近未来なのか過去なのか中途半端、確かにその通りだと思います。これからのまちづくりを進めていく中で、エリアを区切ってここは昭和エリアだよということで、そこに作蔵という居酒屋の横にある昔の看板があったり、すず重というラーメン屋さんの入り口とか結構雰囲気があって写真撮っている若い人がいます。そのような物をまとめてエリアを作り、来年から始まる新しい元号のエリアも作るようなことができれば非常に素晴らしいのではないかなと、強いてはそれが外国人の誘客にも繋がるのかなと思いましたのでぜひ進めて行きたいと思います。企画部長も言いましたけど、そこにスマートボールがあればとてもいい雰囲気になるのかなと思いますので、本当に何とか頑張っていきたいと私は感じています。以上です。

(企画部長)

ありがとうございました。私は最初の意見でありますI T O 4 8 インスタグラマー部の設立についてですが、どんどん情報発信ができ、ニュース性もあって、もっと言

えばあまり費用も掛からなくて出来るので、ぜひこれは実現に向けて具体的に検討したいと思います。ただ時間外勤務手当についてはまた相談させていただければと思います。

(産業課長)

買い物環境については、改善していきたいと思います。

(観光課長)

外国人観光客の宿泊客数ですが平成27年度は10万4千人、これが過去伊東市で最大の数字だと思います。それ以降平成28年度は8万4千人、平成29年度は5万8千人、実はこの減というのはほぼ中国人です。平成27年に爆買いという言葉が流行った年として、それに伴い中国人のお客さんの団体バスがかなり本市にも訪れていただきまして、それ以降団体旅行から個人旅行に中国人も切り替わってきたという部分の減少が顕著に表れてきたところだと思います。

また、外国人が旅をする環境で一番求められるのはWIFI環境、それからコミュニケーションです。旅行した先の宿のフロントやお店の店員さんというところでコミュニケーションという部分を強く望んでおります。そういうところを重点的に整備を進めたくラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックと続きますので、そのようなイベントも視野に入れながら強化したいと思います。またお越しいただいたときに、アンケートを取ることでさらに細かい対策がとれるのではないかと考えております。

(市長)

先ほどお伺いしたいと言いましたピカピカというイメージを簡潔にお願いしたいのと、花火でどんな議論があったかをお願いします。

(Cグループ)

あえてピカピカにすると言ったのは、ピカピカと言ってしまふとありきたりかなというところで、振り切って今まで見たことがないような光を想像するためにあえてピカピカという表現を使わせてもらいました。先ほどの昭和と新しい元号で区別をするということですが私も面白いなと思ひまして、その場所まで光のトンネルで人歩きを増やしていければ良いなと感じました。

花火についてですが、8月の平日の観光客もそこまでの状況にもかかわらず平日に花火が上がっていて、あえて土、日に上げないのはなぜだろうということがこのグループ内で意見が出ました。先ほどのAグループも言っていました、発数を減らしてでも、打ち上げる日を少なくしても一回で多く上がる日を増やしたほうが私も見栄えが良いではないですけど、観光客にインパクトが与えられるのではないかと思います。

こんな簡単な意見でございますがよろしく申し上げます。

(市長)

ありがとうございました。参考にさせていただきます。  
それではDグループお願いします。

#### エ Dグループ

ワークシートに沿って説明したいと思います。

インスタグラムのフォトスポットについてですが、そもそもインスタ映えというのはどういうことなのかなと気になったので調べました。インスタ映えというのは、SNS上での評価にしか過ぎず、例えばSNS上で100人が掲載された写真を見て、99人がいいねという評価が高い写真のことを言うようです。インスタ映えの特徴としては、まず可愛い、カラフルな写真で例えば京都にあるカラフルな手毬や、おしゃれな雑誌に載っているようなお店のポスターに自分が載っているような空間、非日常的で日本にいるけど海外にいるような空間、意外性やミスマッチなどの違和感、例えば規格外ですぐに溶けなさそうな大きすぎるソフトクリーム、世界一や日本一といってその場でしか得られない、そこに行くことによって優越感を覚えるような写真がインスタ映えの特徴になるという事が書いてありました。おしゃれな壁の前で写真を撮ったり、料理は料理だけではなく空間全てを写し出せるように撮ったり、風景写真は広角レンズで撮ったり、最近一番多いのは風景は関係なく足元を撮って地面を生かした写真や小物を使ったりとかする方法が流行っているようです。インスタ映えする代表的な食べ物はパンケーキ、パフェ、アイスクリームです。場所はカフェ、おしゃれな美術館、ミュージアム、伊東で言えばまぼろし博物館等がインスタでは有名になっています。私たちのグループで考えたのは色や光を上手く使い、インスタ映えするように演出に力を入れ、例えばプロジェクションマッピングを東海館に映し出したり、チームラボとコラボレーションして伊東ならではの演出を行ったらどうかと考えました。

東海館はいくつも部屋があるので成人式や七五三などで撮影が気軽にできるような環境をしっかりと作れば、写真館等で多額のお金を出さなくても気軽に良い写真が撮れるのかなと思いました。

インスタ映えを狙うことによって考えられるデメリットとしては、インスタ離れがもう始まってきているので着眼点をここに置くと遅れが出てくるのかなと思いました。

今の事業の課題や改善方法については、浴衣はどこにでもあるので発信力のある有名人や人気キャラクターとコラボをして話題性やインパクトのあるタイトルをつけて発信した方が良いなと思いました。浴衣や着物を着て写真を撮るだけではなく、体験が気軽にできるサービスも組み合わせたら良いなと思いました。例えば、和の作法教室や芸子体験とか京都で流行っている花魁体験などを京都に直接行かなくても伊東でも出来るようにして、時代劇の格好をして外国人に楽しんでもらったりすることも出来るのかなと思いました。東海館は遊休空間が多いので、利益を生む空間活用として簡易な形式で宿泊機能をもう一度復活させて、カフェやシェアオフィスなどを併設して複合施設としてリニューアルをしたら新たに人が集まるのではないかなと考えました。



あと宇佐美に縁のある作詞家、阿久悠さんにちなんだ記念館やイベントを企画して昭和歌謡だったら懐かしさと新しさの両面があることから幅広い世代に響くかなと思います。今テレビ番組のヒルナンデスでは伊豆特集を多くやっていたりするのでメディアにも話題性が発信できれば、興味を持つメディアも多いと思います。

今後の賑わい創出、演出するために必要な仕掛け作りとして考えたのは、伊東は温かく波も穏やかで伊東といえば海ということもあるので、年間を通じて海辺のコンサートができるのではないかなと思いました。今フェスとかが流行っているので、伊東で海フェスを行い道路等も整備できたら良いかなと思いました。富士急ハイランドで富士急ハイランドユニファーフォレストという施設がありまして、有名なアーティストが年間を通じてライブをしているのですが、来場者数も多く富士急に遊びに来る人も多いという相乗効果が生まれているみたいです。また茨城のROCK IN JAPANだと四日間で今年は合計27万人の方が来場したみたいです。普通の公園がライブ会場になって、好きなアーティストが来るだけで人々が集まってくるので、まずやってみることを考えたなら何か新しい伊東の魅力が出来るのではないかなと思いました。

キネマ通りを活用するのであればハロウィンパーティーや仮装祭り、4月とかだったらイースターとかその季節のイベントを行ってみたら話題性になるのではないかなと思いました。またキネマ通りは特別美味しい飲食店が少ないと感じておりまして、出店者が増えれば競争原理から安くて美味しい店が自然と増え、キネマ通りの周りも賑わいが創出されるのではないかなと思いました。

あまり関係ありませんが、花火大会のときに自分の友達が市外から来てくれたりしますが、人が密集している場所は電話のキャリアが繋がらない状況がありますので、電話のキャリアの電波塔を設立した方が良いのではないかなと考えます。スマホを持っている方がほとんどですので検索や迷子になったら電話もできる環境を作る必要があると思いました。

街歩きした中で気づいた点は、閉まっている店が多く、にぎわいを演出したいという気持ちを見受けられないし、人は歩いていないし、やる気もないなと感じました。

ぬくも一ですがそこに商品があってもアピールがないとお客様は来ないと思いますし、私が勤務しているお店のパンも出店しているのですが出店した分だけそのまま戻ってくる人が多いです。出店者はアピールに行けないのでぬくも一の方がどれだけアピールしてくれるかにもよるのかなと思いました。キネマ通りに魅力的な店も少なく駐車場もあまりないという問題もあるので、キネマ通りに行くこと自体がハードルが高いと思います。ハードルを下げるためには仕掛けが必要で、ハロウィンパーティーやSNSなどの口コミの広がりを意識して効果的な情報発信を行うことが必要だと思いました。例えばLINEで友達追加するとそのお店のクーポンがもらえたりする等のSNSで繋がりを広げていき、にぎわい演出になれば良いかなと思いました。以上です。ありがとうございました。

(小野市長)

色々率直なご意見いただいたと思います。インスタ映えばかり追いかけるとインスタ離れが始まっているよということもご指摘をいただきました。まさにホットな話だと思います。東海館の中で撮影が気軽に出来ているかどうかと言ったら気軽には出来

ていないと思います。また確かに使っていない部屋もありますので参考にさせていただきたいと思います。

浴衣はどこにでもあるので発信力のある人や有名人を使って行くべきではないかということや色々な体験ですね、後で観光課長に説明をお願いしますが、体験を行っているのですが情報発信が弱いのかなと思いました。東海館の宿泊機能ですが活用しておきながらですけど宿泊していない理由としては火事の心配があるのではないかと思います。

それから阿久悠先生の記念館ですが、民間からもこのような声がありまして、阿久悠先生の生前の住居は現在他の方が住んでいます、なんとか活用したいという声も前にはありました。そういう声も含めて検討したいと思います。

野外ライブについてですが、確かにそのとおりだと思います。先ほども述べましたがホテルエンジンの前をひとつの公園として今年度中に整備が完了しますので、新しい企画も考えていきたいと思っています。

街歩きをして気づいた点ですが、皆様が総じて感じたことは暗いという感想だと思います。暗いことによって人も集まらないということではないかと思っております。

駐車場も確かに問題が多いと思いますし、やはり飲酒運転がこれだけ厳しくなってきたお酒を飲むと分かっている街まで出かけるという機会が減ってきてきことも関係があるのではないかと感じています。

LINEですが、今一番活用されているツールですので効果が高いのではないかと思っております。参考にさせていただきます。

(若山副市長)

東海館の活用についてですが、成人式等の撮影という点で言えばうまく活用ができるのかなということを感じました。

それから年齢的に昭和歌謡、幅広い世代にも響くと思います、阿久悠にちなんで活用ができれば良いなと思います。ありがとうございました。

(佐野副市長)

市外から来た者として思うことは、現況特別美味しい飲食店が少ないとか、魅力的な店が少ないとありますが、本当にそうなのかなって感じがします。市内の方だから気が付かないだけで本当は美味しい店があるのではないかと思います。自分も色々お店に入ろうと思っています。そんな中で外部の人を呼んで本当にここのお店はどうかなどを一人一人聞いて、発掘するというのは必要かなと思いますし、自分自身もお店に入ってみようかなと思うんですけど、やはり門構えを見ると入り難いところが非常にあります。Bグループでもありましたけどやっぱり店主やお店のイチオシ商品、金額等がわからないです。伊東の商店街の経営者の方は高齢の方が多く自分ではSNSとかできない方もいらっしゃると思いますので行政や色々な団体がフォローして発信力を高めてあげる必要があるのではないかとすごく感じました。ありがとうございました。

(教育長)

ありがとうございました。私は発表者が本当に伊東の将来のことを必死に考えてくれていると感じました。こんなことを言っても出来ないだろうとかではなくて、やはり気持ちが大切だと改めて感じさせていただきました。とても勉強になりました。

(市長戦略監)

ありがとうございました。昭和歌謡とても良いと思いました。昭和エリアで昭和歌謡ショーができれば良いなと思いました。

海フェスの関係ですが、とりあえず今のホテルエンジンの前が整備されます。また将来的に観光会館の建替で今の場所が空いた場合には議会でも述べましたが、ウォーターフロントみたいな形が出来ればベイサイドステージのように何千人か集められるような場所にして、バックで花火が上がる中で有名なロックバンドがイベントを行う等のことができれば良いなと思います。

(企画部長)

ありがとうございました。私は阿久悠さんについてですが、宇佐美にお住まいだったと言う割には伊東市が阿久悠さんを活用していないということは以前から指摘を受けております。熱海市では初島の小中学校の校歌を阿久悠さんに作詞お願いしたことがあり、伊東市は何をしているんだとお叱りを受けたことがあります。詩を書いていたということもあります。記念館は少しハードルが高いかと思います。イベントは行いたいと考えますので、阿久悠さんが作詞した曲の歌謡ショーや阿久悠作品のカラオケバトルみたいなものができれば、誘客にも繋がるのではないかと思います。以上です。

(産業課長)

街を歩く人が増えると出店する大きなメリットがある、出店者が増えれば周辺の賑わいに繋がるという意見ですが、産業課としてもお店を出店するための企業支援や店舗の家賃補助等の事業も行っているのですが、今年度はさらににぎわい創出の事業も行っていますので、相乗効果を生むような事業にしていきたいと考えております。今日いただいご意見も参考にしながら事業を進めて参りたいと思います。

(観光課長)

浴衣についてですが、浴衣での体験会は色々な自治体でやっている中で伊東らしさという部分を出すというアイデアに伊東はペット連れの観光客が多いのでペットとお揃いの浴衣を作ってみたらどうだ、という意見が実行委員会からでました。あと和の作法教室という話が出ましたが、実は一回試しに行ってみたのですが、やはり告知不足でなかなか人が集まらなかったです。常時行ったらどうかというご意見だと思いますので、今回は芸者さんをお願いして行ったのですが、その方々を活用して常時できるようにすることが可能かどうかも含め検討させていただきたいと思います。

それから芸子の体験ですが、こちらも実は既に行っております。知らないと言うことは当課の告知不足なのかもしれませんが、毎年9月中旬から12月初旬までと2月から6月の初旬までの金、土、日に東海館で芸者体験を行っています。その中で作法

も実は入っていたり黒い着物を着てかつらをかぶって街を歩いてもらったり、写真を撮ってもらったりする事を行っている状況です。大人気の企画というわけではありませんが、地道にですがお客さんがいらっしゃいますし、東海館の活用という部分で今後も続けていきたいと思えます。

それからの宇佐美に関してですが、今年観光基本計画というものを作成しています。平成31年度からの指針となるものでして、未来ビジョン会議委員さんにも何名か入っていただいて検討しているのですが、エリア分けとして伊東市街地とそれ以外の南部地域というところの中で実は宇佐美が空いてしまっているような状況です。その辺をどうしていこうかということをお客さんに問いかけながら計画を立てていく中で、アイデアにあるように宇佐美は阿久悠が愛した土地宇佐美として売り込んでいますので、昭和歌謡を使った街づくりということもあるのかなと考えました。以上です。

(小野市長)

ありがとうございます。佐野副市長からもありましたが、特別美味しい飲食店がないという意見についてですが、感じ方で結構違ってくるのかなと思えます。バルでもあります、うずわのたたきを知らない方もいますが食べてみると美味しくファンがいると、他にはアジのたたきのまご茶やイカの口のことをめぼうと言ったりして意外と魅力があるのではないかと感じております。ご当地ならではの味としてイカメンチ、三島コロッケ、富士宮焼きそばとか何か一つのテーマにしまえばアジフライとか単純ですけど、そういうものをブランド化していくことが必要なのではないかと感じました。ありがとうございます。

これですべてのグループの発表が終わりました。皆様からの貴重なご意見を頂戴する中で大変参考にするものが多かったと思えます。このご意見を今後にぎわいの演出の施策に反映させていきたいと思っております。ありがとうございます。

全体として皆さん本当に思うところを言っていると思えます。それは年齢も違うのですがやはり角度や色々見方が違うものがあるなということを感じました。

ぜひこれからもこの会議を中心に様々なご意見お寄せいただきたいと思っております。

## (5) 閉会

(小野市長)

本当は午後8時30分が予定終了時刻でして遅れてしまいましたが時間外手当は申し訳ございません。これにて本日は閉会をさせていただきます。長時間にわたりありがとうございます。最後事務局から日程等について改めて説明します。

(事務局から次回日程説明)

以 上